

有田川町議会広報

# かわら版

平成18年5月発行

## 創刊号

発行 有田川町議会  
住所 和歌山県有田郡有田川町  
大字下津野2018番地4  
郵便番号 643-0021  
電話 0737-52-2111  
FAX 0737-52-3210



遡上する若鮎/写真提供：植田幸男氏

### もくじ

議案および主な質疑 .....	2 ~ 6
町長にもの申す(一般質問) .....	7 ~ 23
特別委員会構成等 .....	24

# 有田川町スタート! 骨格予算決まる

平成18年第1回定例会は3月9日から24日までの日程で開会されました。本議定会例会には、条例制定、17年度予算、18年度予算、財産区管理委員選任の同意、条例の一部改正・廃止、規約の変更、工事請負契約の変更契約の締結、有田郡少年センター事務組合の解散、それに伴う財産処分に関する協議など64件の議案が提案され、それぞれ審議し、原案の通り可決されました。

**平成17年度一般会計予算**  
89億5300万円

**質疑** 木材加工施設の数年先の事業計画の見通しは3年目に黒字となっているが見通しはどうか。仮に赤字が出ればどこが責任をもつのか。行政の後押しも必要ではないか。

**清水行政局長** 厳しいものがある。しかし、木材の利用のために受注がどれだけ取れるか。また販売ルートを研究してきた。赤字を出さないようにする。赤字が出た場合、森林組合の

責任となる。

**町長** 巨額を投じているので一生懸命営業をさせていたきたい。



木材加工施設（瀬水西ノ原地区）

## 特別会計

**質疑** 産業建設常任委員会で、施設も見た。みきり発車の感がある。責任者を呼んで聞くことにしているが行政も責任をもたない大きな赤字になるのではないか。

- 平成17年度住宅新築資金等事業特別会計予算 11億7万2千円
- 平成17年度国民健康保険事業特別会計予算 12億5612万円
- 平成17年度老人保険事業特別会計予算 14億4088万4千円
- 平成17年度介護保険事業特別会計予算 7億8445万7千円
- 平成17年度簡易水道事業特別会計予算 7億5607万4千円
- 平成17年度農業集落排水事業特別会計予算 2億6211万5千円

- 平成17年度簡易排水事業特別会計予算 243万円
- 平成17年度浄化槽事業特別会計予算 3423万8千円
- 平成17年度かなや明恵峡温泉特別会計予算 1億1428万7千円

**質疑** 明恵峡温泉の改修で一時的閉鎖になるが、臨時職員は仕事ができなくなる。この間どうするか協議されたか。

**産業課長** 3月31日まで

休館。仕事はないが、他の温泉施設への研修や施設の修理、掃除、竹やぶの清掃等がある。職員の研修会も計画。支配人が協議している。

○平成17年度特別養護老人ホーム等事業特別会計予算（しみず園） 1億8008万5千円

**質疑** 指定管理者制度にもとづいてどういう形で業務を委託するのか。協定書と覚書を議員に出



していただきたい。

**福祉課長** 4月から寿楽園を経営している一恵会が運営する。期間は5年間。修理などは100万円までが一恵会が持ちそれ以上は町が持つ。職員32名は一恵会に引継ぐとなっている。協定書等は後ほど出させてい

### 就任のご挨拶

有田川町議会議長  
亀井次男



住みよいまちづくりの実現のために一層の努力を

新緑目にまぶしく、新町にふさわしい季節であります。町民のみなさまにおかれましては、ますますお

ただきたい。

- ◎平成17年度公共下水道事業特別会計予算14億2077万2千円
- ◎その他、平成17年度財産区管理会特別会計予算5件

### 条例関係

◎町長の資産等の公開に関する条例の制定

◎国民保護協議会条例の制定

**質疑** 有田川町としてなぜこの条例を制定するのか。

**町長** 全国の市町村がしなければならぬからである。

**質疑** 国民保護法にもとづくもので武力攻撃を受けるのが前提だが、アメリカとの関係がある限り危険な状態。住民の避難や保護が優先されるようになっていないことや基本的な権利が制約される。

**町長** いろんな攻撃を想定し、中身を精査し住

健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、町議会活動にご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

吉備町・金屋町・清水町がそれぞれ50年間培った歴史に幕を引き、平成18年1月1日、「有田川町」が誕生しました。

新町発足に伴う議会では、正副議長、各常任委員長などを選出し、新しい議会体制がスタートいたしました。

議長選出では、私が、議長の重責を努めさせていただくことになりました。もとより浅学非才では

ございますが、新生有田川町誕生の年に議長の職を担うことの重大さを深くかみしめ、精進する決意でありますのでよろしくお願いたします。

旧3町にはそれぞれ地域の特性があり、習慣や風習も少しはあります。それが、長い歴史の中で伝承され、また、大切にされてきたものばかりであります。

運命共同体となること

が決められた今、新しい町「有田川町」に対する熱い思いを、みんなが大切にしようことが、町の融合、一本化の促進につながるものと信じており

ます。今後におきましても、住民がいきいきと心豊かに暮らすことができる地域社会づくりがますます重要になってまいります。

町議会といたしまして、多様化する住民のニーズにこたえるよう執行機関と協力して、有田川町の発展のため、また、住みよいまちづくりの実現のためにも、なお一層の努力をしていく所存です。みなさまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム（しみず園）

民の安全を守るよう計画したい。

◎国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定

◎職員の給与に関する条例の一部改正

◎手数料徴収条例の一部改正

◎総合計画審議会条例の制定

歳入

	千円
町 税	2,277,040
地方譲与税	373,189
地方消費税交付金	229,636
地方交付税	5,987,000
国庫支出金	587,682
県支出金	1,359,043
繰入金	1,716,573
町 債	1,211,400

平成18年度一般会計予算  
144億7500万円

◎介護保険条例の制定  
**【質疑】** 65歳以上の保険料が上がるが、減税等の廃止で課税世帯となり第1段階の方でも第5、第6段階に移行し、負担が大きくなる。だから経過措置をもうけたのではないか。  
**【福祉課長】** 税の関係で変ってくる方もある。基準額を下けると基金を取り崩すことになり問題の

先送りとなるから3100円の基準額は妥当。  
 ◎旧町都市計画審議会条例の廃止  
 ◎旧町介護保険条例の廃止  
 ◎城山・八幡・安諦・各山林財産区管理会条例の制定  
 ◎消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

**【質疑】** 清水庁舎の防災無線移設に900万円も必要か。  
**【福祉課長】** 同じ施設内と違って建物が変わる場合、費用が相当かかる。また、無線の使えない期間をできるだけ少なくするためにアンテナを別途建て直す経費もある。

**【質疑】** ゴミ収集運搬委託費8100万円、何業者で契約額はどうか。  
**【福祉課長】** 可燃ゴミで吉備地区は1社、金屋地区は2人、清水地区は2人、プラスチックは、吉備地区1社、金屋地区2人、清水地区2人。資源ゴミは有田再生資源協同組合へ委託。  
**【質疑】** 可燃ゴミで、吉備地区は月額116万5千円、金屋地区で月額84万6千円、清水地区で月額47万円。  
**【質疑】** プラスチックで、吉備地区は月額90万3千円、金屋地区で月額43万円、清水地区は月額45万2千円。  
**【質疑】** 福祉タクシー券の対象から75歳以上の高齢

歳出

	千円
議会費	115,771
総務費	1,779,230
民生費	2,500,190
衛生費	1,337,190
農林水産業費	1,954,890
商工費	63,590
土木費	706,840
消防費	592,400
教育費	1,841,510
公債費	3,403,320

者はずさないでいただきたい。  
**【福祉課長】** 旧金屋だけの制度で、コミュニティバスや他の公共交通機関を利用してほしい。  
**【質疑】** 医療施設等整備資金預託金1000万円は、清水地区で開業する医師へ貸付ける分だと聞くが、今後予算化しないというのはどういうことか。  
**【福祉課長】** 1000万円の預託金は無医村地区をなくすためのもの。ある程度目的を達したので平成19年度から廃止の予定。  
**【質疑】** 不法投棄対策の中に林道も含めて検討されたい。  
**【町長】** 不法投棄対策は、主要道路が少なく町道や林道がほとんどで、きちんと監視できる体制を検討したい。  
**【質疑】** 有害対策でオリの設置にも補助金を。



**町長** 有害対策であるが、ご希望の方があれば要望に応じていきたい。

**質疑** 指定袋委託料の内訳はどうか。

**町長** 指定袋は、商工会へ販売手数料も含んで委託し、可燃ゴミ袋の袋で、大5円、小4円50銭。いずれも1枚当たりである。

**質疑** 町道の認定基準が2mから4mに変わりますが、条件によっては2mの基準も必要ではないか。

**町長** 町道の認定基準であるが、金屋地区や清水地区では4m以下であっても町道からはずすという事にならない。今すぐ町道に認定しなければならぬ道路があれば必ずしも4mでなくてもいい。

**質疑** 補助金のつけ方、例えば、公民館費の報

償金、要求額に対して査定額の比率を旧町別で見ると、吉備が86%、金屋が48%、清水が74%、不公平であったはならない。今後きちっとしていただきたい。

**町長** 補助金、昨年と比べると非常に少ない。各種団体に事業計画と予算付けをきちっとやってもらいたい。今のままで終わるといふことはない。適当な額を出していきたい。

**質疑** 予算書の職員給料の節に職員何人分と明記してほしい。

**町長** 次回から何人分と記載させていただく。

**質疑** 有害鳥獣捕獲報償費はどのような方を対象に支払うのか。捕獲対象により補助の仕方が違うがどうなっているのか。

**産業課長** 猟友会を通じて支払いをしている。イノシシは鉄砲、猿

は鉄砲またはオリとなっている。

**町長** 18年度でイノシシのオリも補助対象とし、19年度も多ければ、上限を決めてもらう。

**質疑** 金屋地区、清水地区の廃校の維持管理と今後の活用はどうか。

**町長** 都会からのよびこみや夏休みの林間学校や企業研修で町外に発信し、活用したい。

**質疑** 町道で4mもないめやす道路、こういうところへ建物を建てる時移動できるものならいいが、永久的なものを中心から2m後方へずらすとあとの処理は、町がやってくれるのか、個人でやるのか。

**町長** 永久的な構造物はだめ。町道としての効果がない。区でやってくれるのであれば材料支給ぐらいは考えるが、町で全部今のところできない。

**質疑** 町道の認定、統一した見解で調整しているか。農道で町道の認定基準に達していない未整備の箇所がある中で支障をきたさないか。

**建設課長** 公益的観点から4m以上ということ。ただその箇所が急傾斜とか色々な条件があるところは、公益的見地から道路管理者が認めるものは、ある程度特例を認めても同じ見地。



ふれあいドーム(清水ふれあいの丘)

18年度の特別会計

◎住宅新築資金等事業特別会計予算  
歳入歳出それぞれ803万円

◎国民健康保険事業特別会計予算  
保険給付費21億4971万円、老人保健拠出金7億2668万円、介護納付金2億6664万円、共同事業拠出金7400万円、保険事業費5654万円など歳入歳出それぞれ34億116万円

**質疑** 国保税の引き上げが予想される中で福祉と協力して健康対策に力を入れ健康なまちづくりを打ち出していたきたい。また資格証明書はその方の状況をつかみ機械的に発行しないよう求める。

**町長** お年寄りに生きが



有田川町清水行政局全景

いのある事業、これから探して実施していきたい。

◎老人保健事業特別会計  
主に医療諸費など歳入歳出36億5326万円

◎介護保険事業特別会計  
保険給付費15億7018万円、地域支援事業費3051万円など。歳入歳出それぞれ16億8625万円

◎簡易水道事業特別会計



有田川町健康庁舎全景

水道施設費4億9963万円、公債費2億3758万円などが主なもの。歳入歳出とも8億2428万円

◎農業集落排水事業特別会計  
歳入歳出2億8775万円

◎簡易排水事業特別会計  
歳入歳出とも334万円

◎浄化槽事業特別会計  
主に衛生費に3077

万円で歳入歳出とも3534万円

◎かなや明恵峡温泉特別会計  
施設管理費が主で、歳入歳出とも1億4580万円

◎特別養護老人ホーム(しみず園)等  
事業特別会計  
歳入歳出それぞれ1611万円

◎公共下水道事業特別会計  
歳入歳出それぞれ12億718万円

◎岩倉財産区管理会特別会計  
歳入歳出それぞれ5万9千円

◎粟生財産区管理会特別会計  
歳入歳出それぞれ86万7千円

◎城山山林財産区管理会特別会計  
歳入歳出それぞれ171万円

◎八幡山林財産区管理会



明恵峡温泉(4月1日リニューアルオープン)

特別会計予算  
歳入歳出それぞれ160万円

◎安謐山林財産区管理会  
特別会計予算  
歳入歳出それぞれ7万8千円



# 町長にもの申す。

## 一般質問

こんなことが取り上げられました

No.	質問議員氏名	質問事項	No.	質問議員氏名	質問事項
1	浦 博善	・議会傍聴用VTRを役場1階ロビーへ設置してはどうか。 ・中学校にサッカー部を設置できないか。 ・国道整備を取り組み方針を問う。	10	堀江眞智子	・介護保険について ・ゴミ袋と収集について ・障害者福祉について
2	殿井 亮	・廃プラ・生ゴミの委託業務について ・有田川町消防本部について	11	淡 正剛	・自然災害時の避難支援について ・学童の安全通学について
3	佐々木裕哲	・今回行われた町長・町議会選挙を振り返って ・開かれた町政を目指して	12	森本 明	・金屋・中井原地区水路の整備について ・鑛石トンネル問題について ・組織機構、行財政改革について
4	前勢 利夫	・林業の振興について ・過疎地域に於ける教育体制の確立について	13	森谷 信哉	・情報基盤の整備について
5	竹本 和泰	・新町の行政運営について	14	中山 進	・市町村合併について
6	岡 省吾	・過疎地における今後の町の取り組みについて	15	増谷 憲	・県市町村合併推進構想とまちづくりについて ・防災対策について ・教育庁の姿勢について
7	坂上東洋士	・町長の今後の政治姿勢について	16	楠部 重計	・新生「有田川町」のまちづくり構想について ・助役 収入役の選任について
8	尾上 武男	・二川ダムと有田川町の災害対策について ・通学路の整備と防犯灯の増設について			
9	東 武史	1.新町の歌とマスコット 2.ネーミングライツ導入を! 3.少子化、若者定住対策について 4.仮称「ふるさと支援条例」について			



# 住民参加の町づくりをめざして!



浦 博 善

もっと気軽に  
議会傍聴を♪

**質問** 新しい町を住民のみなさまと共に作り上げていくには、行政への参加を呼びかけていかなければならない。

議場の4階に設置しているテレビモニターを、庁舎1階のロビーに設置すれば、誰にでも気軽に議会傍聴してもらえるのではないか。

**町長** 住民参加の行政は重要なことであり私も懸命に取り組んでいく。テレビモニターの件については、傍聴席と4階のロビーが満席になるようであれば考える。

**再質問** 住民のみなさまに気軽に議会をのぞいてもらいたい。ちよっとテレビを観るような感覚で議会傍聴してもらえよう再度検討を願う。

**町長** 4階ロビーのモニターを1台だけ庁舎1階

ロビーへ設置できないか  
早急に検討する。

吉備中学校に  
サッカー部を

**質問** 吉備地区に3つの少年サッカーチームがあり150人以上の子どもたちが、練習に励んでいる。

この子どもたちが、中学校へ進学してもサッカーを続けられるよう、吉備中学校へサッカー部を設置することができないか。

**町長** 吉備中学校の運動場は満杯状態である。サッカーは広い面積が必要であり、今の状態でサッカー部をつくることは非常に困難である。

社会教育の一環でやってももらえないか、グラウンドの確保もあわせて検討したい。

**再質問** 社会教育ですとは、どういうことなのか。そのためには何をす

ればよいのか。

**教育長** まずサッカー連盟等への参加、サッカー部全体の組織づくり、グラウンド確保の3点が重要になってくる。これから関係者の方々と相談しながら進めたい。



少年サッカーチームの子どもたち

町を十文字に貫く2本の  
国道整備を希望

**質問** 有田川町を東西に走る480号、南北に貫く424号、この2本の国道整備についての取組

み方針を問う。

**町長** 480号については、強い意欲を持って取り組んでいく。424号については平成22年度までに紀南方面へは、開通すると聞いている、紀北方面へも早く開通できるように努力していく。

**再質問** 424号沿線である五西月地区は、極端に整備が遅れており大変危険な状態である。全線を通じて大型車両が通行不能となっているのも五西月地区だけである。

紀南方面の整備が終了次第、紀北方面の整備に取り組むべきでないか。

**町長** 五西月地区の危険な箇所については十分に把握している。地元のみなさんを含め国・県に強力に要望し一日でも早く開通できるように努力する。







## 廃プラ、生ゴミの委託業務のあり方は 有田川町消防本部の改築は

殿 井 堯

**質問** ゴミ収集等、清掃業務委託契約でありませんが、収集業が開始されてから今日まで入札方式の経緯が全くなく随意契約で行われている。そうした中で入札公募もされていないのはなぜか。

新有田川町としてスタートした中で、なぜ統一したあり方、考え方のもとでできないのか。有田川町を構築していくための基礎づくりであるのではないか。公平性に欠けるのではないか。また、公用車の車検、ガソリン業者も、一定の業者ではなく公平にしていたきたい。

**町長** ゴミ収集の随意契約の経緯であります。旧吉備町では、公募しなかった。このようなか中、廃棄物処理法では、適正な業務の遂行を重視しており、町が



ゴミ収集車

委託した業務が一般競争入札制度ではなしに、受託者の資格要件である能力、受託料等を総合的に判断し、受託者が適切に遂行されていけば随意契約をしてもよいことになっている。しかし18年度から、廃プラスチックの収集は公募するということで広報にも載せている。また、旧3町いっしょにすることで収集時間、日数も含めて見直しをすればコストダウンができると考えている。また、車の車検やガソリンについても、公平に町内の業者にしていきたい。

**消防本部の移設を**

**質問** 行政の防災対策として「有田川町消防本部」の立地場所は大きな問題があるので指摘したい。昭和28年の水害、昨年の有田川河川増水、また、いずれ発生するといわれている南海・東南海大規模地震等によりダムが決壊すれば現消防本部からの救援活動はおろか、逆に救援を受けなければならぬところへ施設がある。よって現有有田川町消防本部の移設を行い、最大限、救援活動に取り組む体制を構築することが急務ではないか。

**町長** 50年以内に、東南海地震がかなり高い確率で起こるといわれている。消防本部・吉備金屋消防署は、昭和51年の11月に旧建築法により建設されている。平成

17年度に消防本部の耐震診断を実施し、強度が確保できないという診断結果が出ている。また、地形的な原因として、ご承知のとおり昭和28年の大水害時には、約5メートルも水位が上がったので現施設であれば消防自動車、救急車が高台に移動させなければならぬ。そういった場所は、機能が果たせないの、できるだけ早く移転計画も含め、今後検討していきたい。



有田川町消防本部

## 選挙を振りかえって 開かれた町制を



佐々木 裕 哲

**質問** この度、2月5日の選挙は有田川町の将来の基礎をつくるための選挙であり非常に関心の高い選挙であった。選挙にお金がかかるのは当然だが、今回の選挙で1769万円の費用がかかった。中でも人件費（主に残業費）食料費関係で、1124万円、率にして約64%と大半は開票のための役場職員の残業費となっている。今回の選挙の投票率は約84%であり、中でも期日前投票者は3883人と、5人に1人が期日前に投票され、選挙ごとに増加している。投票時間も午後8時までで開票も順調であったが、最終当選確定時間が午前0時35分と遅すぎる。当日開票であれば、有権者は少しでも早く結果を知りたいものである。選挙当日、午後7時以降投票された

方は少人数と聞いていた。また経費の面でも、1時間繰り上げれば、約100万円ほど、節約できる。町職員も日が変わって帰宅し、また朝から仕事ではないか。このことについて町長としての考えを問う。

**町長** 指摘の通り私も以前から8時までにする必要があると疑問を持っていた。できれば次の選挙までに1時間ぐらい短縮して、8時ごろから開票できるようにしたい。

### ご意見箱の設置を

**質問** 新生有田川町、約3万人の町長として、町民が将来安心して住める町づくりをめざしていただきたい。私も住民代表の議員として精一杯努力、協力する覚悟である。



本庁舎ロビー（1F）

さて、町長はいつも住民の声を聞きながらと言われるが、2年前、旧吉備町議会では、徳川吉宗八代将軍が、幕府に対する不満や意見を聞くため目安箱を設置し、享保の改革を行ったことを紹介し、それはよいということ、役場玄関にご意見箱を設置した。また広報にも「なんでも通信欄」を設け、住民の意見を聞く姿勢が好評だった。新生有田川町が誕生し、より住民の意見を聞くべきだと私は思う。な

ぜ、ご意見箱を撤去し「なんでも通信欄」を廃止したのか。開かれた町政をめざすならば、吉備・金屋・清水庁舎へ設置し、住民の身近な声に耳を傾けるべきだと思う。今、他町で公共施設の窓口にほとんど設置しているが、今後設置されるのか。

**町長** ご意見箱は、4月から各庁舎へ設置する。また広報「なんでも通信欄」は今まで年2回を今後は年4回にして町民の意見を聞かせていただく。残念なことに匿名の方が多く、名前が書かれている方へはすべて返事をしていく。







## 林業の振興は！ 教育（過疎地域）対策はいかに！

前 勢 利 夫

**質問** 面積約351kmの内、73%を占める森林の活性化なくして新町の安定発展は期し難い。林業不振が長期化する反面、その公益機能（水源涵養・土砂流失防止・大気保全等）重視対策がますます高まりつつある。この事実が新町づくり計画にも明記されているが、公益保全整備事業としての「同伐材事業」の更なる促進、「森林基礎事業」林道網、作業道の充実による機械化導入を通じ、伐採、集積、出荷を高め、コスト減を図り、市場競争に打ち勝つための方策を樹立されたい。西ノ原木材加工施設を軌道にのせ成功を果たすための対策やバイオマス導入による木材資源循環利用、また若手担い手の育成や森林組合の充実対策を聞く。

**町長** 林業は極めて厳しい状況下にある反面、その公益機能については一層重要視されている。当町においても、県の紀中森林整備計画を基本として、有田川町森林整備計画を早期に作成し、提案事項を具体化し、実践したい。特に間伐材については本年目標480haを消化すると共に、緑の担い手として6名を雇用する予定である。西ノ原加工場の運営については指定管理者である森林組合と連携し成功を図る。森林組合の統合については林家にも相談しながら進めたい。

### 児童数の減少の防止を

**質問** 過疎化に加えて少子化は情け容赦なく進行する中で教育基盤を構成する児童、生徒数の減少ほど、身にこたえるものはない。

**町長** 義務教育の場である小中学校の存在は、機能維持だけではなく、集落コミュニケーション持続のため欠かすことのできない場であり、その消滅は、地域集落崩壊につながる要因を抱えている。新町づくり計画の中でも、「小中学校の通学区域については現行の通りとする」と規定されているが、その具体的対策と今後の見通しはどうか。昨年末、県教委諮問会議は今後の義務教育のあり方として「きのくに緑と青の教育の創造」を提言、自然環境に重点を置き、伝統文化遺産等を教材とし、林業体験や、海・山・川の恵みの豊かさを実感。「故郷を愛する心を育む活動の構築が重要」としている。山村留学制度確立に活かして欲しい。



本年町内小学生540名が23年には159名減の381名。中学生は998名と推定され、特に過疎地域は一段と厳しくなることが予想される。町行政、教育行政が一体となって積極的な対応を進めたい。例えば安諦小、藤並小の連携とか、小中一貫教育の検討。山村留学についても住民運動との連携を深めてゆきたい。宗<sup>もと</sup>抵<sup>ひ</sup>、明<sup>あき</sup>恵<sup>け</sup>、笠<sup>かさ</sup>松<sup>まつ</sup>左<sup>さ</sup>太<sup>た</sup>夫<sup>と</sup>、杉<sup>すぎ</sup>野<sup>の</sup>原<sup>はら</sup>御<sup>おん</sup>田<sup>でん</sup>舞<sup>まい</sup>、久<sup>ひさ</sup>野<sup>の</sup>原<sup>はら</sup>御<sup>おん</sup>田<sup>でん</sup>舞<sup>まい</sup>、二<sup>ふた</sup>川<sup>がわ</sup>子ども歌舞伎等、郷土の偉人、伝統文化を理解し、郷土を愛する心を養うよう努力したい。また久野原小学校が実践している「しみず米」作り等、自然体験教育にも取り組みたい。



## 新町の行政運営を問う



竹本 和泰

**質問** 本年1月、旧3町が合併して誕生した有田川町、この新しい町は夢と希望の持てる町であってほしいと願う。

そこで私は、これからの新町の行政運営について、町長の見解を求めたい。

合併前3町の住民が早く融合し、新生「有田川町」のまちづくりを進めていくため、町民に開かれた行政、身近な役場としていくことが大事である。そのため、まず各地域の実情を把握した旧3町の職員を、統轄する各課にバランスのとれた配置をしていく必要があると思うが、町長の見解はどうか。

**町長** 旧3町住民が一日も早く融合できるようにしたい。旧町にはそれぞれ事情があり、旧町単独の職員ばかりでは対応できない。4月の

異動で課長を含めてそれぞれの地域の職員が混ざるように検討している。



有田川町吉備庁舎全景

### 新町まちづくり計画の推進を

**質問** 新町まちづくり計画では、合併後10年間の建設事業費一般会計と特別会計合せて533億円の事業が計画されている。しかし、財源的に仮に7、8割しか実施できない場合、旧3町への事業配分がどうなるのか。均衡を保つため

には数年単位での調整が必要と思うが、どうか。

**町長** まちづくり計画を全部進めることは困難だと思う。ただ、できる限り努力したい。事業は単年度ではなく3年位の結果を見て、今後の見通しなど示させていた

### 行政の効率化を

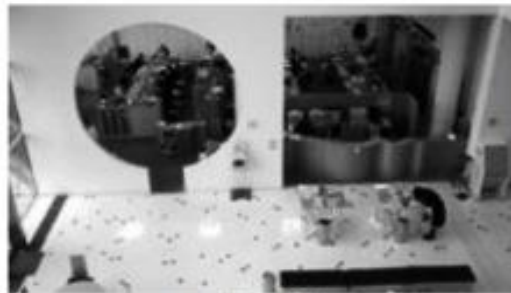
**質問** 本年度の予算編成は、財源不足から財政調整基金（積立金）約12億8千万円の全額取り崩しとなり、次年度はさらに厳しいと町長は述べている。これは現時点でも財政の非常事態といえる。

合併による行政経費の軽減に伴い、交付税も大幅に削減される。10年間猶予されるが、これに対応する効率化が求められる。11年間に一般

職員を82人減らすとしているが、組織機構の見直しを含めた年次計画はどのようになっているか。

**町長** 定員適正化計画を早急に策定して、行政のスリム化、効率化を図っていきたい。

合併して3ヶ月、組織機構についても矛盾点や不合理な点も出てきている。今後改善して町民のみなさんにご不便をかけないよう4月からでも取り組みたい。



本庁舎ロビー（1F）





## 今後の過疎地域対策は

岡 省 吾

**質問** 新有田川町が誕生して早や3ヶ月が過ぎ、町内各地を回り、改めてその広さを実感しました。広大な面積を有する有田川町において、とりわけ清水地区においては言うまでもなく、少子高齢化に伴い歯止め効かない人口減少の一面をたどっている。合併し、ますます過疎に拍車がかかると不安を抱いている方が、山間地に多いことを踏まえ、今後の過疎地域対策、取り組みについて町長の見解を問う。

**町長** 合併し、それぞれの地域を活かした均衡ある発展として、過疎地域については、林業振興、少子高齢化対策も必要であるが、活性化には観光が非常に有効であると考えます。久野原、杉野原の御田の舞、二川歌舞伎のような文化、また温泉や自然を活かした観光をメインとして取り組みたい。

**質問** 今や携帯電話は、生活の一部として浸透しているが、未だに電波が全く飛ばない地区が町内に数ヶ所ある。携帯電話の通話もままならない所では、定住促進、観光振興にも支障をきたす。また地元の切実な陳情もあり、事業所の見解もあると思うが、一日も早い携帯電話の不通箇所解消を切に願うところである。町長はこの問題を、どう捉えているか。

**町長** 携帯電話の移動サービスは、利用可能な地域を拡大し、地域間の情報通信格差の解消を目的としている。有田川町でも随時、国・県に申請しており、18年度も県に実施希望調査として、五郷、上・下湯川地区、修理川、松原地区について提出している。採算性もあり、事業者の参入が不可欠であるが、住民の生活向上はもちろん、緊急時の対応手段としても非常に重要であると思うので、積極的に取り組みたい。



**質問** 現在清水地区では、福祉バスを週1回程度、路線バスの運行していない地域を巡回し、高齢者を診療所まで送迎している。有田川町においても18年度よりコミュニティバスを試行運行するということが山間地の方、高齢者、体の不自由な方々にとって非常に有効で利便性の高い交通手段になるものと期待している。

**町長** 19年度の本格運行に向けて18年度中に試験運行し、利用者の実態を把握し、よく利用されるような運行をめざしたい。計画は、交通空白地へのサービスを大前提に、吉備地区1コース、金屋地区4コースを設定。各コース週1日、午前・午後1往復ずつ運行し、一般路線バスへ連結したい。料金については、利用者の負担が大きくならないように低額設定が必要と考えている。



福祉バス

## 町長の今後の政治姿勢はどうか



坂上 東洋士

質問

旧3町が合併して、初めての有田川町長に当選された中山町長さんに対し、改めまして心からお祝いを申し上げます。しかしながら今回の選挙戦で事前の予想に反して大変厳しい結果となったことはご承知の通りだと思っております。

さて、八代将軍吉宗公は、紀州藩から将軍になられたお方で、「享保の改革」で目安箱などを設置して民衆の意見をよく聞いて政治に反映したこと、のちの世で名君とうたわれた方である。その吉宗公が今から約280年前、時の学者、室鳩巢に命じて作らせた「六諭衍義大意」という書物には次のように書かれている。それは

- 一、父母に孝順になれ。
- 一、長上を恭敬せよ。
- 一、郷里を和睦ならしめよ。

一、子孫を教訓せよ。  
一、各々生理に安んぜよ。  
一、非為をなすなかれ。

吉宗公は、この六ヶ条の教えをもって民衆の子どもたちの初等教育にあたるよう指導したと伝えられている。今の言葉に置き換えますと、「両親の言うことをよく聞き」、「年長者をよく敬い」、「隣り近所の方々とは仲よくし」、「将来ある子どもたちを正しく導き」、「家族を養い生活を安定するために仕事によく励み」そして、「嘘はつかず正直に生き、間違ったことはするな」という六つの内容になるかと思われる。時代の変遷はあるうとも人間の生業の中でいつの世でもこれらの教えは常に大切なことである。

この教えは子どもたちに諭すことでもあるが現在社会の大人たちも含め

てみんなが今一度考え直してみる必要があるのではないかと。なぜならば「子は親の背中を見て育つ」と昔からよくいわれている。このようなことをおこがましくも申し上げるのは、今後町長は、たくましい産業の町づくりや、思いやりのある福祉の町づくり、健康の町づくりなどみんなで築く活気のある町づくりをなされるためにも、これらのこと



将来ある子どもたち

を精神的な支柱として何事にも全力で取り組んでもらいたいとの思いからである。

そこで質問するが、まず第一に誰にでも公平で偏らない町政の実現。「えこひいき」のない町政の実現。2つ目は、おごりのない謙虚な町政の実現。3つ目は、権力をかさにきることなく常識と人間性豊かな町政の実現。4つ目は、弱い立場におられる方々に対する思いやりや温もりがあり人間味あふれる町政の実現。最後の5つ目は、金権とは無縁な町政の実現である。以上5つの基本的姿勢について誠意ある答弁を賜りたい。

**町長** 先の選挙332票差という厳しい選挙であり、このことを真摯にふまえ更に身をひきしめて今後の町政運営にあたっていきたい。





## 二川ダムと有田川の災害対策は、 通学路の整備と防犯灯の増設を

尾上 武男

**質問** 二川ダムと有田川の災害対策について質問する。二川ダムは完成して約40年経っており、ダムには予想以上の土砂が堆積している。砂防ダムとして役目をなくしているのではないか。

近い将来、東南海、南海地震が予想されている、特に二川ダムの右岸側がミカブ破砕帯であり、地震が起これば一番危険である。県は、ダムは壊れないといっているが、完全なものではない。

このような大災害が起こった場合、流域住民への、避難方法にどう対処されるのか。

**町長** ダムに堆積している土砂やダムの機能については今のところ何ら対策をしていない。ダムについては、和歌山県のダムは阪神淡路大震災の震度でも耐えられるダムであると聞いている。

ダムの機能を失う場合は県と協議する。有田川の災害対策についてはダムの水位を下げるよう県に対して申し入れ、昨年より下げている。特に6月から9月までの雨期はさらに下げようとしている。有田川に堆積している土砂を、町で取ることにしているが、県が許可をくれるか、また各漁業権との問題があり、今後協議したい。



土砂が堆積した有田川

**質問** 昨年より全国で児童に対する多くの犯罪が発生しており、わが町

### 通学路の整備と 防犯灯の増設を

でも不審者が出ると聞いている。そこで児童、生徒の通学路に防犯灯の増設をできないか。特に中学生や児童のクラブ活動が遅くまで行なわれ、暗くなって帰る子どもたちが犯罪に遭うことが考えられる。町の管理のもとで増設できないか。また通学路の整備について特に天満地区の松下内科前より高速南インター間は熊井、水尻、明王寺地区の児童120人ほどが、通学し、また中学、高校生の通学路にもなっており大変危険に思われる。早急に整備できないか。また教育委員会としてどのような対応を考えているのか。

**町長** 松源前より親田橋まで6ヶ所設置し田殿農協までは今後増設していきたい。また通学路については天満川よりインターまでは19年度よりバ

イパス工事で整備していきたい。松下内科より天満川まではグリーンベルトの整備を検討していきたい。教育委員会としては子どもの安全を守るのが第一であるので関係課と相談していく。

**再質問** 工事中の通学路は大変危険であるから通学路の変更など考えていないか。また金屋地区や清水地区でも危険なところがあると思う。今後考えていくのか。

**町長** 工事中の通学路については安全第一に考えていく。また金屋、清水地区に対しても今後要望があれば検討していく。



見守られる子どもたち



## ネーミングライツ導入を!



東 武 史

**質問** ネーミングライツ（施設命名権）や広報誌への企業の広告掲載の導入はどうか。

**町長** 厳しい財政の中で、はたしてスポンサーが現れるのか。今後導入にあたっては検討を重ねる必要があるが、広報誌への広告の掲載は考えていきたい。

少子化・若者定住対策に  
どう取り組むか

**質問** 国は少子化対策として4月から児童手当の支給上限年齢を小学校3年生から6年生に引き上げる方針。

平成17年3月末の旧3町の新生児数は223名、わが町でも早急な少子化対策を練る必要性がある。しかし、合併に伴い旧清水町で実施されていた結婚祝い金や出産祝い金等が廃止された。その反面、東京都千代田区では、今年4月より全国

に先駆け妊娠5カ月目から18歳までを対象に国の児童手当より手厚い「次世代育成手当」を支給すると発表。小学1年生から6年生については区の予算で一律1000円上乗せして6000円にするほか、所得制限も全面的に撤廃する。手当は妊娠5カ月目（16週目以降）から支給を始め、第2子までは1人あたり月額5000円、第3子以降は1万円（胎児期は5000円）を支給する。また、多くの自治体でも乳幼児医療費補助制度が見直されている。現在、わが町では乳幼児医療費補助は3歳までだが、東京都港区、台東区では15歳まで、品川、目黒では12歳、世田谷区で9歳である。わが町の少子化対策・若者定住対策や子育ての環境整備はいかに。

**町長** 指摘のとおり、結婚祝い金は合併と同時に廃止をした。出産祝い金は、第1子、第2子については廃止したが、第3子以降については30万円を支給することを決定している。ただし、お金を出したら産んでくれるのかという問題ではなく、過疎地域については、いかにして若者が住んでくれるかということが早期の問題である。過疎地域の自然・文化・歴史・温泉を活かし、若者が多く住んでもらえる方向で進めるのが本当だと考える。また乳幼児医療について、和歌山県は今年10月に3歳から6歳まで引き上げる予定（入院は義務教育就学前まで）で、当町でも実施したい。また、仕事をさがしている間の子どもの一時預かりなどのことについて、家庭の事情などにより保育所でも開放できることがあるのでご相談されたい。さらに今年7月から

シルバー人材センターが法人化して子育ての支援事業にも取り組んでくれる。そこでは1時間から1日を単位とした預かり、放課後の預かり、家庭へ出向いての預かりを計画している。今後シルバー人材センターと具体的に話し合いをし、またいろんな機関と相談しながら子育て支援については積極的に取り組んでいきたい。

仮設住宅の整備に  
どう取り組むか

**質問** 平成16年9月、北海道ニセコ町では町内外の方からの寄付を募り、環境や社会的基盤を整備することを目的とした「ふるさと寄付条例」を制定したが、わが町でもどうか。

**町長** みなさん方と研究をしながら考えていきたい。





## 福祉施策の充実を

堀江 眞智子

### 子育ての 介護保険

**質問** 4月から介護保険制度が大きく変わることになります。新たに地域支援事業として再編される中で、どう変わるのか。低所得者への手だてや独自の減免制度の取り組みの考え、包括支援センターの体制、新予防給付にあたる方は何人くらいか。

困った人を助けるという意味では、道路などに使うのではなく福祉施策に使っていただきたい。無理なことやできないことがあれば国や県へ意見を上げるべきではないか。

**町長** 予防サービス重視型となる。

**福祉課長** 新予防給付にあたる方は322人と見込んでる。

### 子育ての ゴミ問題

**質問** プラスチックなどの資源ゴミの収集回数を増やすことはできないのか。今年1月からゴミ袋が5種類になったために、せつかく慣れてきた分別が、袋が増えたことで余計ややこしくなると大勢の方からお聞きしますが、町民の理解と納得が得られていないのではないか。

ゴミの減量化を進めるには、みなさんの意見を聞きゴミ減量化の方針や取り組みの方向を協議する組織を作ることが、住民主体のゴミ減量化につながるのではないか。

**福祉課長** プラスチックゴミなどの収集回数は早急に対策を練る。

**町長** ゴミ袋については中身が混合されていなければ収集するように指導している。また生活改善

友の会などの検討会等に参加し、ゴミの分別減量に協力を求める中で意見をいただき検討し、町民と対話をすすめる。



ゴミの分別

### これからの 障害者福祉は

**質問** 障害者自立支援法によって利用者一割負担になりサービスを受けたとしても受けられない方がでてこないのか、低所得者対策をどのように考えているのか。精神障害者通院医療費の自治体負担の検討はどうか。また、法人でない作業所への今

後の対応はどうか。

**町長** 利用限度額の引き下げや、食費などの実費負担の引き下げなどの措置が講じられているためそのようなことはない。仮に半分の負担をすると560万ほどの町費となるため考えていない。作業所への補助は財政が許す限り続ける。



# 自然災害時の非難支援と 学童の安全通学は



湊 正 剛



吉備橋～田殿橋間では、堆積土砂は2mにも達し、豪雨による堤防の決壊が心配される。

**質問**

(1) 予知可能な災害に対して危険な地域に居住している一人暮らしの老人や体の不自由な方々の事前避難支援活動についての対応はどうか。  
(2) 災害の規模により自治体だけでは救護できない時の自主防衛組織の

確立について、当町は遅れていないか。  
(3) 近い将来高い確率で東南海・南海地震が発生するといわれているが、被害を最小限に止めるためにも詳細な検討をしているのか。  
(4) 当有田川町の住民は、有田川を中心に居住し

ており、河川の氾濫に対して護岸の強化と川の浚深の早期着手を求めたい。

(5) 現在毎日のようにマスコミ等において事故や事件に遭遇されている学童がいると報道されている。当町の学童に対する登下校時の安全対策は万全であるのか。  
以上は全国的な課題であり自治体としても地域住民の尊い人命と財産を守ることが基本的な責務である。当局の指針を問う。  
また一昨年旧町の議場の質問で親田橋よりJA田殿支所間の防犯灯の設置を要望したが未



街灯

だ設置されていない。再度要望したい。  
**町長** 災害対策については、住民の期待にそえるよう最善の努力を約束したい。  
河川整備、川床の浚深着工については、国・県に対しさらに強く要望をしていく。  
学童の登下校時の安全対策について詳細なことは検討中であり、後日報告することを約束したい。  
防犯灯については早期に設置したい。





## 金屋庁舎付近の 大雨時における冠水対策は

森 本 明

**町長** 金屋庁舎周辺の宅地化及び周辺整備等により、大雨ともなりますと床下浸水や道路等が冠水する状況である。早急に改善したいと考えている。現在コンサル会社に委託し、調査・検



金屋庁舎周辺の浸水状況(1)

**質問** 20数年前から水路が溢れ通水路を塞ぐばかりか、付近の住宅も床下浸水することを昨年の旧町3月議会で質問させていただき、早速補正予算で中井原金屋区内全般の水路調査を行っているが、調査結果に基づき18年度にハード面での手当を求めたい。

**町長** このトンネルは、私も議員と同様の思いで

**質問** 県道上六川、海南間を結ぶ悲願のトンネル実現にむけ、昨年7月、地元住民の方々、代議士、県議、県幹部、町議が一同に集まった決起集会を無駄にしないよう、なお一層ねばり強い取り組みを求めたい。

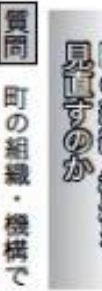


金屋庁舎周辺の浸水状況(2)

討中である。結果報告を受けて現状を打開できるような検討し、有利な補助事業で予算をつけていきたい。

**町長** この組織機構については、3年間据え置くとなっているが、不

**質問** 町の組織・機構ですが、合併協議会の専門部会で十分に研究され、決定されたもので3年間適用すると聞いているが、合併から3ヶ月を経過し、矛盾点が増えてきたと思うが、改革を進める考えはあるのか。

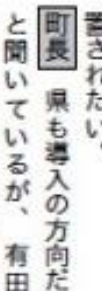


**町長** 近い将来実施されると思われる職員の勤務評価について、金屋庁舎の職員全体を見渡し、掌握できる役職の方を配置されたい。

ある。大災害が起こった場合、いつ国道、高速道路が寸断し、有田地域が孤立するかも分からない。一日も早い完成を望んでいる。県で、18年度予算にこのトンネルの調査費が予算化されたと聞いている。これからも早期着工にむけて、国・県に対して機会あるたびに、積極的に要望していきたい。

**町長** 県も導入の方向だと聞いているが、有田川町でも職員数も多く、また役職の方も大変多くなっている。今までのような年功序列ではないと思う。実力のある方を適材適所に配置するように考えている。金屋庁舎の職員間を取りまとめる職員の配属については今後検討したい。

**質問** 近い将来実施されると思われる職員の勤務評価について、金屋庁舎の職員全体を見渡し、掌握できる役職の方を配置されたい。



**町長** 近い将来実施されると思われる職員の勤務評価について、金屋庁舎の職員全体を見渡し、掌握できる役職の方を配置されたい。

都合な所も生じている。今後は課の統合も含め、町民のみならずにご迷惑のかからないよう配慮し、行財政改革を進めていきたい。

## 情報基盤の早期整備を!



森 谷 信 哉

**質問** 平成18年1月1日から合併をして、東西に28km、面積が約351kmとなり、東西に長い町となった。人口が密集して民間企業により情報基盤の整備が進んでいる地域、また人口が少なく小さい集落や、電話の基地局から離れすぎてブロードバンドの提供が受けられない地域、携帯の電波が届かず、不通話地域があるなど、情報通信格差があると思われる。今後、新町となり、情報通信格差解消のためどのように対応するのか、また、不通話地域で移動用通信鉄塔の建設予定があるのか。設置に莫大な費用がかかる、大変ではあるが、新町になり一体的な行政サービスや情報の周知、2011年度のデジタル放送に向けての対応、また福祉サービスを行う上での光ファイバーを用

いたケーブルテレビ化を考えているのか。  
**町長** 清水町においては、平成17年の整備事業によってサービスが利用できるようなっているが、まだまだ利用できるが、まだまだ利用できない地域があるのも分かってはいる。しかし、世帯数の少ない地域については、業者の参入も二の足をふんで整備が進まないでいる。携帯についてもおおむねの地域については不通話地域の解消にも努めている。テレビの難視聴地



移動用通信鉄塔(長谷川地内)

域についても共聴施設を設置して難視聴の解消をしている。町としてもできる限り行っていくが、今後さらに地域間格差の解消に努めたい。またケーブルテレビの導入については、通信事業者の参画の問題もあり、また莫大な費用がかかり、もう少し慎重に見守っていききたい。  
**再質問** 清水地域においてはブロードバンドの整備は完了したとお聞きしたが、まだ大字清水では12MHzしか利用できない現状の中で、高速通

信や容量が大きい情報の取り入れに時間がかかる。また旧吉備・金屋地域のように人口が多く企業の採算が合うようなところは、ブロードバンドの整備が進む中、私たちのような地域でも、行政のバックアップにより企業との連携をとり、地域の要望をかなえてほしい。

**町長** 県は、有田川町をブロードバンド整備地域に指定している。2010年までに県下全域にブロードバンド網を完備する方針を掲げて、今年度から始まる。今後、動向を見守りながら旧清水町においてもブロードバンド網が完備できるように努力したい。







## 市町村合併について

中山 進

**質問** 新しい町、有田川町になり3ヶ月目に入った。合併当初と違い少し落ちついてきたように感じる。しかしノーマル状態になるには、もう少し時間が必要と思う。何かと困難している中で平成18年度当初予算を編成されたが、税収の上昇が望めない中で編成にあたって苦勞されたのではないか。今回の市町村合併で合併の機会を逃した自治体などは、交付税等の削減により加速度的に財政が悪化している中で有田川町の長期の財政について2点質問する。



有田川町市庁舎全景

まず行政改革について、どこの市町村も財政的に苦しい中、生き残りをかけて熾烈な戦いが始まっている。北海道では、職員の給料10%カット、年収にして115万のダウン。先日大阪で行われた、山県知事が国の指針を上

回る11%の大幅な人員削減と市場化テストを行う予定である。このように自治体が競争の時代に入った。

もう1点は、交付税である。年々削減される中、頑張った自治体には厚く、そうでない自治体はその逆と言っているのですから創意工夫と企画力をもって対処してもらいたい。

次に市町村の第2次合併について県より何か話があるのか、あるとすれば町長としてどのように思っているのか。

**町長** 新町の長期財政見通しについては、新町まちづくり計画にそってやっていきたい。ただ経常収支比率は年々上昇している。平成16年度で93%になっている。交付税が年々5%程度減っている。今年7月の交付税が合併したことによって増えることを期待したい。また財源の一部である合併特例債については、慎重に考えていきたい。また経費全般についても節減合理化に努めると共に集中改革プランを作成し、積極的に行政改革に努めていきたい。

今ひとつ合併問題についてですが、合併して3ヶ月の間に、第2次合併の話があるのかとの質問だが、県の第2次合併推進審議会によると、和歌山県は10市3町の案が県に答申されている。10市の中に有田市と3町の合併案が含まれている。県

の話として、4年後の合併案として話があった。有田川町として合併したばかりでいまの所第2次合併はそう簡単にはいかない。新町の町づくりの方が先決である。

**再質問** 町長の答弁を頂いたわけですが、議会として先の合併協議会で決まっている議員の定数についての議論と同様に合併問題についても特別委員会等をつくって勉強及び研究する必要がある。

次に行政改革だが、自治体の競争時代の中で競争に負ければ住民の負担が増え、住民サービスの低下につながる。従って行政改革をしっかりとやらせてもらいたいことを要望する。



## まちづくりに全力を



## 増 谷 志

**質問** 町長は、生きがいや豊かさを実感できるまちづくり、住みたい町、行きたい町の実現に取り組むと表明された。その一方、合併したばかりなのに次の合併話が出されている。どのようにまちづくりに取り組んでいくのか。

計画が上がっている事業の具体化、特に当面5年間の計画はどうか。行政サービスを落とさず維持できるか。集中改革プランをつくって住民サービスの分野まで合理化をはかるうとしていないか。町長等の報酬引き下げや議員の費用弁償の廃止なども検討すべきではないか。若者が住んでもらうための定住対策や高齢者福祉の具体化はどうか。行政サービスを進める上で課の体制や課長の配置はどうか。

**町長** 有田川町をどのように立ち上げていくか

つばい。次の合併は今のところ考える余地はない。まちづくりは計画にそって進めるが、当面の5年間の計画があと3ヶ月でできるので提示する。不便になってはならない。行政改革を進めていく。報酬についても検討する。

地域で暮らしていける施策に取り組む。同じ課の課長が何人もいる体制がいいのかどうかも含め体制を考えていく。

## 災害対策を進めるための体制は

**質問** 防災計画はいつごろできるのか。その計画を論議する防災会議を開いたのか。

消防署の人的配置は消防力の基準からみても73%の基準しかなく、今後の配置計画はどうか。特に清水署には地元の方が少なく災害時に対応できるかどうか。

防災ヘリやドクターヘリの整備計画はどうか。また山林火災も想定して基地に夜間証明や100トンの防火水槽の設置を。災害で地域が孤立化することを想定して水道や電気等の確保を検討すべきでないか。

**町長** 防災会議は開いていない。早急に開けるようにしたい。防災計画は18年度中につくりたい。職員は現在56名で条例改正で62名とし、順次増員していく。災害時には、もよりの消防署に集まることになっているが、災害の状況で職員の参集状況を考慮し配置を決定しなければならぬ。消防団とも早急に話し合いをしたい。

ドクターヘリの場合、夜間は飛ばないので照明施設は考えていない。今後計画する防災ヘリ場外離着陸場の整備は迅速な対応ができるよう今後検討したい。

後検討したい。災害対策用品として6リットルの給水袋が2千袋。給水タンク3基、非常用臨時給水弁3基を準備しており、毎年1回水道管による災害対策訓練を実施している。



防災ヘリポート(清水橋本地内)

## 教育行政への姿勢は

**質問** 教育長の教育行政に取り組む姿勢はどうか。

**教育長** 机上で判断するよりも行動で判断していきたい。こどものためというものが基本になってくると思う。





# 新町まちづくり構想はどうか 助役・収入役をおくのか？

楠 部 重 計

**質問** 町が大きくなって、役場が遠くなっても、住民サービスの低下は許されない。均衡ある3町のまちづくりはどうか。

**町長** 清水地区は過疎化になりつつある。観光と林業の中心にしたい。中部金屋地区では、国道2路線改修と鏡石トンネルの開通促進、商業の活性化をはかる。吉備地区では、吉備バイパスや高速の開通とJR藤並駅への特急の停車、風力発電の誘致など調和のとれたまちづくりに全力で取り組む。

### 第3保育園の改築は

**質問** 合併前から横立てられた基金の運用を図り、早期改築の実現を計りたい。

**町長** 早急に改築の方向で取り組むが、現地で建て替えが最適である

のかどうか。地域の効率化も視野に入れ改築したい。

### 仮統轄石トンネル 早期開通を

**質問** これまで概略調査等に取り組んでいたが、本路線の早期事業化を図るため、更に国・県への要望を強く求める。



トンネル構想図

**町長** 県が今年になってようやく鏡石トンネルを抜くため予算計上される見通しである。最重要道路と認識し、国・県から具体的な回答を得るよう努力する。

### 旧道に力をいれては

**質問** 有田川の清流、生石山、温泉等、美しい郷

土の豊かな遺産を観光資源に十分活用した環境づくりの実現を求める。

**町長** 観光マップの作成など、都市へ向けての発信、町外からも多くのみなさんに来ていただき、もう一度来てみたいと思われるまちづくりをめざしたい。



生石高原

### 以前のゴミ袋 使えたのか

**質問** なぜ旧指定のゴミ袋を回収したのか。使いきることになったのか。回収後の使い道はどうか。

**町長** 合併時に統一するという観点から。また

回収後の利用は、夏場の有田川の一斉清掃やボランティア活動に活用してもらいたい。

### 自産物への対策は

**質問** 農業をとりまく生産価格の低迷、生産コストの高騰への対策はどうか。

**町長** 厳しい農業情勢、後継者の減少など重要な課題と受けとめている。若い方々の意見を聞きながら、有田みかんのブランド化など推進する。

### 助役、収入役の選任は

**質問** 助役、収入役は選任されるのか。また選任時期についてはどうか。

**町長** 助役は、できるだけ早い時期に選任したい。収入役は、全国的また県下でも置かないところも多く、その方向で検討したい。



# 特別委員会

○は委員長、◎は副委員長、□は委員と  
なります。

議会広報編集  
 特別委員会の  
 ○浦博吾  
 ◎岡省吾  
 増谷憲  
 堀江眞智子  
 東武史  
 西弘義  
 森谷信哉  
 下水道事業対策  
 特別委員会(10)  
 ◎林道種  
 ◎尾上眞智子  
 堀江眞智子  
 亀井良知  
 田中良剛  
 湊正哲  
 佐々木裕  
 殿井弘義  
 西弘義  
 中山進  
 風力発電設置  
 特別委員会(13)  
 ◎湊正剛  
 ◎西弘義  
 尾上眞智子  
 堀江眞智子  
 亀井良知  
 田中良剛  
 佐々木裕  
 殿井弘義  
 森本裕明  
 横畑龍彦  
 殿井龍彦  
 林道種

一部事務組合議会  
 ◎は議長、○は副議長  
 有田周辺広域圏  
 事務組合議員(5)  
 前勢利夫  
 大岡憲治  
 田中良剛  
 湊正剛  
 横畑龍彦  
 有田郡老人福祉施設  
 事務組合議員(3)  
 ◎橋爪弘典  
 ◎東武史  
 尾上眞智子  
 有田聖苑  
 事務組合議員(3)  
 ◎林道種  
 浦博吾  
 森谷信哉  
 橋部重計  
 中山進  
 ◎前勢利夫  
 ◎竹本和泰  
 増谷憲  
 東武史  
 湊正剛  
 森本明  
 坂上東洋士  
 楠部重計  
 新家弘  
 橋爪弘典  
 森谷信哉

## 求む!



広報委員会では、議会広報誌「かわら版」の表紙を飾る写真を、町民みなさんから募らせていた  
 だきたいと思えます。  
 有田川町の名所や風景などお気軽にご応募下さい。尚、勝手ながらお寄せした写真は返却できませんのでご理解下さい。よろしくお願ひします。  
 くわしくは事務局まで。

『みなさんのお声を  
 お待ちしています』  
 議会広報委員会では、充実した紙面作りのためみなさんからのご意見、ご感想等、お待ちしております。ぜひお寄せ下さい。



編集風景



傍聴に  
 お越し  
 ください  
 次の定例議会は6月の中旬ごろになります。議会では、みなさんの生活に直結する問題を協議しております。ぜひとも傍聴にお越し下さい。  
 お待ちしております。議場は議会棟の4Fです。

## 編集後記

近所のおいやん、おばちゃんがある日突然政治家になった。そんな素人政治家が、どんな活動をしているのか知ってもらいたい。みなさんの意見を聞かせてもらいたい。  
 新しい町づくりをみなさんと一緒に進めていくための窓口となれるよう、このたび「議会広報かわら版」の発行となりました。  
 議員自ら原稿を書き編集作業をおこなっている広報紙であります。まだまだ未完成的な紙面を、みなさんからのご意見を基に完成されたものへと作り上げていきたく思っております。  
 ご意見ご感想をお待ちしております。  
 お問い合わせ  
 ☎52-2111  
 吉備庁舎4階議会事務局  
 まで